

# 技術部通信



## ◆ 近況報告【科学と創造の楽しさを体感！「ものづくり体験教室2025」開催】

2025年8月6日（水）、鹿児島大学郡元キャンパスにて、大学院理工学研究科技術部主催の「ものづくり体験教室2025」を開催しました。今年度は、新たに3つのテーマが加わり、計5テーマで実施。小・中・高校生あわせて39名が参加し、科学と創造の楽しさを体感しました。

今回新たに加わったテーマは、「錫で記念メダルを作ろう！」「LEDランタンをつくろう！」「漁具コースターをつくろう！」の3つです。「錫で記念メダルを作ろう！」では、錫を高温で溶かし、オリジナルの鋳型に流し込んで固める鋳造技術を体験。子どもたちは自ら考えたデザインを形にする過程で、金属加工の魅力と達成感を味わいました。

「LEDランタンをつくろう！」では、電子回路の組立てから3Dプリンタで作成したケースへの取り付け、和紙を使ったランプシェードの作成までを行い、光の演出を楽しみました。細かなはんだ付け作業にも挑戦し、電子工作の面白さを実感する機会となりました。

水産学部技術部が提案・担当した「漁具コースターをつくろう！」では、実際の漁具に使われる丈夫なロープを使って、円形と角型のコースターを作成。手作業を通じて漁業技術とものづくりの融合を体験し、学内技術部間の連携による新たな取り組みとしても注目されました。

これらの新テーマに加え、昨年度から継続している「DNA実験～PCRをしてみよう！」「建築模型をつくろう！」も実施され、参加者は5つのテーマの中から興味のあるものを選んで挑戦しました。アンケート結果から、多くの参加者が「おもしろかった」と回答しており、科学やものづくりへの関心が高まった様子がうかがえました。

今後も、子どもたちが多様な分野に触れ、自分の興味や可能性を広げる機会として、この取り組みを継続してまいります。



## ◆ 新規導入機器のご紹介

この度、3Dスキャナ「Revopoint POP 3 Plus」を導入しました。本機は持ち運び可能な高精度3Dスキャナで、鮮明な色彩と細部まで再現可能なスキャン性能を備えています。3Dプリンタとの連携やその造形精度の確認、簡易な寸法測定などの利用を想定しています。興味をお持ちの方はお問い合わせください。

高精度スキャン：最大0.08mmの精度で、細部まで正確に3Dモデル化  
カラー再現力：HD RGBカメラとフラッシュLEDにより、リアルな色彩再現  
スキャン速度：最大18fpsの高速スキャンで、滑らかなデータ取得が可能  
光学ズーム搭載：従来比2倍のズームで、より詳細な構造をキャプチャ可能  
広範囲対応：最小20×20×20mmから最大2×2×2mまでのサイズに対応  
軽量・コンパクト：本体重量190g  
出力形式：PLY、OBJ、STLなど主要な3Dファイル形式に対応  
メーカーWebサイト：<https://www.revopoint3d.jp/products/portable-3d-scanner-pop3>



## ◆ 論文賞受賞のご紹介

比良祥子技術専門職員の共著論文が、2024年度日本色彩学会論文賞を受賞しました。本賞は、過去1年間に、日本色彩学会誌、Color Research and Application誌、又は、Journal of the International Colour Association誌に掲載された最も優秀な原著論文を表彰し、その著者全員に贈られるものです。

論文名：Color representations of normals and congenital red-green color deficiencies based on differential scaling of color-names and color-naming experiments

著者名：Minoru Ohkoba, Tomoharu Ishikawa, Kota Kanari, Shoko Hira, Sakuichi Ohtsuka, Miyoshi Ayama

掲載誌：Color Research and Application, Volume49, Issue6, November/December 2024, Pages 577-599

## ◆ 理工学研究科技術部のHPも御覧ください！アドベントカレンダー開催！

理工学研究科技術部のHPでは、技術部通信で紹介できなかった情報が多数あります。例えば、技術部の概要や活動報告、技術相談窓口、大判プリンタ印刷依頼などです。また今年度は「アドベントカレンダー」も開催します。12月1日～25日、技術部有志による日替わり投稿を学内限定で公開します。ぜひこの機会に理工学研究科技術部のHPも覗いてみてください。

